

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			遊び方により、過ごす場所を1階と2階でスペース分けしている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			固定曜日で出勤予定を組み、適切な配置を組むよう努力している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		制度化される前から市町村事業でデイサービスを行っていたので設備が古い。トイレはバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○		ミーティングで振り返りを行っているが、不十分な部分がある。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか		○		アンケートは実施していないが、個別面談の内容をもとに改善できることはしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか		○		今後、ホームページに公開を予定している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	研修は受講した。今後の課題である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			常勤職員は2ヶ月に1回、非常勤も含めた全体研修は年2回行っている。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			利用者と直接関わっている職員から状況等を聞き取り、アセスメントを行い、支援計画に反映させている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		出来るだけ写真、カードを使用して意思確認を行っているが、不十分な部分もある。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか		○		担当者が活動予定を作成し、学習活動の立案はチームで行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			利用者の誕生日会や季節のイベントを実施している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		半年ごとに課題を設定しているが、きめ細やかとはいえない。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			毎日の活動で集団の活動と個別の活動を取り入れて予定を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			長期休暇時は、各担当職員に個別に支援内容を伝えている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		支援後の打合せは行っていないが、担当職員は利用者の一日の様子をノートに記入し、情報を職員全員で共有できるようにしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援の記録をとり、それに基づいて打ち合わせを毎日行っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に一度、職員間で見直しを行った後、保護者と面談を行い、モニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか		○		利用者の出来る事を伸ばすという基本的な見方をしているが、今後は支援計画に基づいた支援をしていくようにする。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達管理責任者が出席するようにしている。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			保護者を通して学校との情報共有を行っている。緊急時に保護者と連絡が取れない時は学校と直接連絡を取っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		該当している利用者なし
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	中学生・高校生を対象にサービスを行っている為、就学前に利用していた事業所との連携はないが、相談事業所との連携は取っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		要望があれば情報提供している。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			児童発達支援センターによる研修や会議に出席している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流する機会は設けられていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎えにきた保護者と必ずその日の様子を伝え合い、送迎を利用している利用者の保護者とは連絡帳で伝え合っている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者に対しての支援は出来ていない。
保護者への説明責任等	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			年度の契約時、年2回の面談を通して説明を行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者からの相談には、自身の経験や相談員からのアドバイス等必要な助言をおこなっている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		保護者会を適宜実施したが、定期的な実施ではなく、連携に対しての支援はやり切れていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情を受けたら、関係が悪化することのないように迅速な対応を心掛けている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人の取り組みとして、定期的に広報を発行している。又、毎月の利用希望を提出していただく時に、事前に活動内容を提示している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には会話も通じて十分注意し、適時スタッフへ伝えている。資料は鍵のかかる場所へ保管している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			障害のある子どもには会話、手振り身振り、写真など、その人に必要な伝達を行っている。また、意志を感じ取っていけるよう努力し、普段の関わりを大切にしている。保護者や学校の先生との引継ぎ時には、利用者に聞こえないように配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	地域の行事には参加することもあるが、地域住民を招待する行事を行ったことはない。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		法人委員会で活動している。マニュアル化されていないものもある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年2回、各事業所で訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			虐待防止に関する掲示をしたり、定期的に法人内研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束については、面談で保護者に説明し、了解を得ているが、サービス計画に記載しきれていない。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	保護者からの聞き取り、又は指示に基づき食物アレルギーの有無を把握し、気を付けているが、医師の指示書までは対応していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			月1回の事業所内の会議時に必ずヒヤリハットの状況を説明し、内容を共有している。